

7.1.2. 免疫抑制：維持期（現在）

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

::レシビエント追跡調査・調査用紙(3ヶ月後) [ID:30 生体肝] 検索 肝移植症例一覧へ戻る

調査用紙	ステータス	更新日時	
レシビエントの状態	完了	2011-02-27	編集

免疫抑制:維持期(現在) ✕

レシビエント

ステロイド

カルシニューリン・インヒビター
シクロスポリン(CyA) タクロリムス(FK506)

mTOR阻害剤
シロリムス(Rapamycin) エベロリムス(RAD)

核酸合成阻害
ミコフェノール酸モフェチル(MMF) アザチオプリン(AZP)
ミゾリピン(MZR) シクロフォスファミド(CP)

その他

[保存](#) [キャンセル](#)

合併症・再手術・再入院・妊娠・出産:前回調査以降のもののみ	新規		編集
追跡時の検査値	新規		編集

4 個ありました

@2010 MediWeb

入力可能な項目をチェックし、「保存」をクリックして保存します。

7.1.3. 合併症・再手術・再入院・妊娠・出産：前回調査以降のもののみ

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

レシピエント追跡調査・調査用紙(3ヶ月後) [ID:30 生体肝] 検索 肝移植症例一覧へ戻る

調査用紙	ステータス	更新日時	
レシピエントの状態	完了	2011-02-27	編集
免疫抑制:維持期(現在)	新規		編集

合併症・再手術・再入院・妊娠・出産: 前回調査以降のもののみ

レシピエント

出血 部位:

Primary non-function

拒絶反応
 急性 慢性

血管系合併症
 血栓症 狭窄 その他

血栓症 動脈 門脈 肝静脈 その他

狭窄 動脈 門脈 肝静脈 その他

胆道合併症
 縫合不全 狭窄 その他

感染症

原疾患の再発

PTLD

悪性腫瘍

診断年月(悪性腫瘍)

その他

合併症による再手術 無 有
 (手術日 術式)
 (手術日 術式)
新しく入力欄を増やしたい場合は、一度保存してください

合併症による再入院 無 有
 (入院年月 理由)
 (入院年月 理由)
新しく入力欄を増やしたい場合は、一度保存してください

妊娠回数 回

出産回数 回

[保存](#) [キャンセル](#)

追跡時の検査値 新規 [編集](#)

4 個ありました

©2010 MediWeb

入力可能な項目を入力し、「保存」をクリックして保存します。

7.1.4. 追跡時の検査値

肝移植症例登録システム **LITRE-J**
ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

::レシビエント追跡調査・調査用紙(3ヶ月後) [ID:30 生体肝]
検索 ▶ 肝移植症例一覧へ戻る

調査用紙	ステータス	更新日時	
レシビエントの状態	完了	2011-02-27	編集
免疫抑制:維持期(現在)	新規		編集
合併症・再手術・再入院・妊娠・出産・前回調査以降のもののみ	新規		編集

追跡時の検査値 ✖

レシビエント

AST	<input type="text"/> U/L
ALT	<input type="text"/> U/L
Platelet	<input type="text"/> x 10 ⁴ /mm ³
T.Bil	<input type="text"/> mg/dL
D.Bil	<input type="text"/> mg/dL
Alb	<input type="text"/> g/L
Creatinine	<input type="text"/> mg/dL
PT	<input type="text"/> %
INR	<input type="text"/>
HBsAg	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HBsAb	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HBeAg	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HBeAb	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HBcAb	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HBV-DNA	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HCVAb	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HCV-RNA	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
HIV	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
ATLA	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
CMV(IgG)	<input type="radio"/> + <input type="radio"/> - <input type="radio"/> ± <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明

肝細胞癌の場合のみ

AFP	<input type="radio"/> 100,000ng/ml以上 <input type="radio"/> 15ng/ml以上9999ng/ml以下 (<input type="text"/> ng/ml) <input type="radio"/> 15ng/ml未満 <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明
PIVKA-II	<input type="radio"/> 100,000mAU/ml以上 <input type="radio"/> 40mAU/ml以上9999mAU/ml以下 (<input type="text"/> mAU/ml) <input type="radio"/> 40mAU/ml未満 <input type="radio"/> ND <input type="radio"/> 不明

保存
キャンセル

4 個ありました

©2010 MediWeb

入力可能な項目を入力し、「保存」をクリックして保存します。

7.2. レシピエント追跡調査・編集

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

::レシピエント追跡調査・調査用紙[ID:30 生体肝] 追跡調査入力 | 肝移植症例一覧へ戻る

順番	追跡調査の種類	患者現状	調査日	ステータス	
3	10年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
2	3年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
1	3ヶ月後	生存	-	編集	調査用紙 編集 削除

3個ありました

©2010 MediWeb

「編集」をクリックします。

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

::レシピエント追跡調査・調査用紙[ID:30 生体肝] 追跡調査入力 | 肝移植症例一覧へ戻る

レシピエント追跡調査(#3)を更新 ✕

追跡調査の種類 10年後

調査日

[キャンセル](#)

2	3年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
1	3ヶ月後	生存	-	編集	調査用紙 編集 削除

3個ありました

©2010 MediWeb

「調査日」をカレンダーから選択して「更新」をクリックして更新します。

8. ドナー追跡調査

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

ドナー追跡調査・調査用紙 [ID:30 生体肝] + 追跡調査入力 肝移植症例一覧へ戻る

順番	追跡調査の種類	患者現状	調査日	ステータス	
3	10年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
2	6年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
1	3ヶ月後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除

3個ありました

©2010 MediWeb

「追跡調査入力」をクリックします。

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

ドナー追跡調査・調査用紙 [ID:30 生体肝] + 追跡調査入力 肝移植症例一覧へ戻る

ドナー追跡調査を作成 ✕

追跡調査の種類

調査日

[キャンセル](#)

順番	追跡調査の種類	患者現状	調査日	ステータス	
3	10年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
2	6年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
1	3ヶ月後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除

3個ありました

©2010 MediWeb

「追跡調査の種類」を選択して、「調査日」をカレンダーから選択し「作成」をクリックして作成します。

8.1. ドナー追跡調査・調査用紙

肝移植症例登録システム LITRE-J					ログイン中: Test Name ログアウト パスワード変更 ユーザー管理			
::ドナー追跡調査・調査用紙[ID:30 生体肝]					追跡調査入力		肝移植症例一覧へ戻る	
原簿	追跡調査の種類	患者現状	調査日	ステータス				
3	10年後	-	-	新規	調査用紙	編集	削除	
2	6年後	-	-	新規	調査用紙	編集	削除	
1	3ヶ月後	-	-	新規	調査用紙	編集	削除	
3個ありました								
©2010 MediWeb								

「調査用紙」をクリックします。

肝移植症例登録システム LITRE-J					ログイン中: Test Name ログアウト パスワード変更 ユーザー管理			
::ドナー追跡調査・調査用紙(10年後)[ID:30 生体肝]					検索		肝移植症例一覧へ戻る	
調査用紙				ステータス	更新日時			
現状				新規			編集	
検査値と合併症・再手術・再入院				新規			編集	
2個ありました								
©2010 MediWeb								

記入する調査用紙の「編集」をクリックし、編集画面に遷移します。

8.1.1.現状

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

ドナー追跡調査・調査用紙(10年後) [ID:30 生体肝] 検索 肝移植症例一覧へ戻る

調査用紙 ステータス 更新日時

現状

ドナー

現状 健存 病脳 死亡

以下、健存の場合のみ

術前状態への完全復帰 可 否

否の場合、その理由 医学的 社会的

由

具体的理由

活動状況;術前に比べて %

Quality of Life

常時の就労・就学 (学齢期以前では正常な成長)

パートタイムの就労、常時の就学不能 (学齢期以前では成長低下)

自宅療養、就労・就学不能 (学齢期以前では成長停止)

入院中(一般病棟)

入院中(ICU)

不明

PS 0 1 2 3 4 不明

以下、病脳の場合のみ

病脳の場合:その理由

病脳期間

通常生活への復帰 可 否

活動状況;術前に比べて %

Quality of Life

常時の就労・就学 (学齢期以前では正常な成長)

パートタイムの就労、常時の就学不能 (学齢期以前では成長低下)

自宅療養、就労・就学不能 (学齢期以前では成長停止)

入院中(一般病棟)

入院中(ICU)

不明

PS 0 1 2 3 4 不明

以下、死亡の場合のみ

死亡:死亡日

死因

脳血管障害

その他の中枢神経系疾患

心疾患

その他の循環器疾患

呼吸器疾患

消化器疾患(肝不全)

消化器疾患(その他)

腎・泌尿器疾患

感染症

血液・造血器疾患

悪性新生物

自殺

事故

その他

不明

検査値と合併症・再手術・再入院 新規

2個ありました

©2010 MediWeb

入力可能な項目を入力し、「保存」をクリックして保存します。

8.1.2. 検査値と合併症・再手術・再入院

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

ドナー追跡調査・調査用紙(10年後) [ID:30 生体肝] 検索 肝移植症例一覧へ戻る

調査用紙	ステータス	更新日時
現状	新規	

[編集](#)

検査値と合併症・再手術・再入院

ドナー

T.Bil mg/dL

D.Bil mg/dL

AST U/L

ALT U/L

PT %

INR

疾患の有無 無 有

心血管系

呼吸器系

胆道系
 縫合不全 狭窄 その他

その他の消化器系
 イレウス 胃十二指腸潰瘍 その他

手術部位感染 (SSI)

それ以外の感染症 部位:

その他

再手術 (前回報告以降のもののみ) 無 有
 (手術日 術式)
 (手術日 術式)
新しく入力欄を増やしたい場合は、一度保存してください

再入院 (前回報告以降のもののみ) 無 有
 (入院年月 理由)
 (入院年月 理由)
新しく入力欄を増やしたい場合は、一度保存してください

2 個ありました

©2010 MediWeb

入力可能な項目を入力し、「保存」をクリックして保存します。

8.2. ドナー追跡調査・編集

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

::ドナー追跡調査・調査用紙[ID:30 生体肝] + 追跡調査入力 > 肝移植症例一覧へ戻る

順番	追跡調査の種類	患者視状	調査日	ステータス	
3	10年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
2	6年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
1	3ヶ月後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除

3個ありました

©2010 MediWeb

「編集」をクリックします。

肝移植症例登録システム LITRE-J ログイン中: Test Name | ログアウト | パスワード変更 | ユーザー管理

::ドナー追跡調査・調査用紙[ID:30 生体肝] + 追跡調査入力 > 肝移植症例一覧へ戻る

順番	追跡調査の種類	患者視状	調査日	ステータス	
3	10年後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除

ドナー追跡調査(#2)を更新 ✕

追跡調査の種類 6年後

調査日

[更新](#) [キャンセル](#)

1	3ヶ月後	-	-	新規	調査用紙 編集 削除
---	------	---	---	----	--

3個ありました

©2010 MediWeb

「調査日」をカレンダーから選択し、「更新」をクリックして更新します。

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

タイトル	発行者	発表誌名	巻号	ページ	出版年
日本移植学会 2007年症例登録 統計報告 (扉)	日本移植学会	移植	43(6)	447	2008
腎移植臨床登録集計報告(2008)-1 2007年実施症例の集計報告	日本臨床腎移植学会、日本移植学会	移植	43(3)	206-210	2008
腎移植臨床登録集計報告(2008)-2 2007年実施症例の集計報告 (2)	日本臨床腎移植学会	移植	43(6)	448-457	2008
肝移植症例登録報告	日本肝移植研究会	移植	43(6)	458-469	2008
日本移植学会 2008年症例登録 統計報告 (扉)	日本移植学会	移植	44(6)	539	2009
腎移植臨床登録集計報告(2009)-1 2008年実施症例の集計報告	日本臨床腎移植学会、日本移植学会	移植	44(3)	250-255	2009
腎移植臨床登録集計報告(2009)-2 2008年実施症例の集計報告(2)	日本臨床腎移植学会	移植	44(6)	548-558	2009
肝移植症例登録報告	日本肝移植研究会	移植	44(6)	559-571	2009
日本移植学会 2009症例登録 統計報告 (扉)	日本移植学会	移植	45(6)	589	2010
腎移植臨床登録集計報告(2010)-1 2009年実施症例の集計報告	日本臨床腎移植学会、日本移植学会	移植	45(3)	237-242	2010
腎移植臨床登録集計報告(2010)-2 2009年実施症例の集計報告 (2)	日本臨床腎移植学会	移植	45(6)	595-607	2010
腎移植臨床登録集計報告(2010)-3 2009年経過追跡調査結果	日本臨床腎移植学会、日本移植学会	移植	45(6)	608-620	2010
肝移植症例登録報告	日本肝移植研究会	移植	45(6)	621-632	2010
Coding and traceability for cells, tissues and organs for transplantation	Micheael Strong, Naoshi Shinozaki	Cell Tissue Bank	11	305-323	2010
New Registry and Tracking System for Renal Transplantation in Japan	K.Yuzawa, S.Takahara, T.Kenmochi, K.Takahashi, S.Teraoka	Transplantation Proceedings	42(10)	4010-4013	2010
欧州モデルに学ぶ、医療文化と臓器提供推進機関のあり方	篠崎尚史	Organ Biology	17(1)	27-33	2010

刊行物

タイトル	発行者	発表誌名	巻号	ページ	出版年
日本の臓器移植症例登録システム 紙から電子化へ	日本移植学会、日本臨床腎移植学会、 日本肝移植研究会	-	-	全184	2011

V. 研究成果の刊行物・別冊

日本移植学会 2007年症例登録 統計報告

Japanese Transplantation Registry (JTR)
2007 Annual Report

善意の臓器提供者が必須である移植医療においては、実施症例数およびその成績を社会に公表してゆくことが求められる。しかしながら、わが国の各臓器移植においては、その歴史的背景や登録・解析業務の煩雑性、個人データ取り扱いの問題から、全臓器移植の登録報告が一括して行われてこなかった。しかし、前移植学会登録委員長の吉村了勇教授（京都府立医科大学大学院）の多大なご尽力で、昨年より「移植」に全臓器移植（小腸移植を除く）の統計報告が掲載された。

また本年より、症例数のもっとも多い腎移植・肝移植において、生体ドナーおよびレシピエントの登録、追跡調査にUSBメモリーを用いた新たなシステムの導入がなされ、より正確で効率のよい登録事業の推進に期待が持たれる。また、本年5月2日に国際移植学会の主催したサミットでまとめられたいわゆる「イスタンブール宣言」においても、自国内での移植の推進と生体ドナー保護・保障を国家的に取り組むことの必要性が強調されており、世界的視点からも、移植学会における登録事業の重要性は増している。

今回は、各臓器移植関連学会、研究会において登録された集計結果・統計解析結果として本特集に掲載する。

本来は各臓器移植の集計結果を比較検討し、移植学会登録委員会ないしは Japanese Transplantation Registry (JTR) として考察し、今後の登録フォーマットの共通化、集計・解析の共通化、世界に向けての発信（英文ペーパー化）、さらに現在各研究会の登録委員がいわばボランティアで行っている登録業務の負担軽減を進めるべきと考えるが、今後の登録委員会の課題とすることでご容赦いただきたい。

この特集が移植学会会員をはじめ広く社会への発信となれば幸いと考えている。

この度、多大なご協力をいただき、ご執筆いただいた登録委員の先生方に深謝いたします。

（日本移植学会登録委員会委員長

国立病院機構千葉東病院・臨床研究センター 剣持 敬）

【腎移植】

腎移植臨床登録集計報告（2008）-2

2007年実施症例の集計報告（2） 日本臨床腎移植学会 ……………448

【肝移植】

肝移植症例登録報告

日本肝移植研究会 ……………458

【心臓移植】

本邦心臓移植登録報告（2008年）

日本心臓移植研究会 ……………470

【肺移植】

本邦肺移植症例登録報告—2008—

日本肺および心肺移植研究会 ……………474

【脾臓移植】

本邦脾臓移植症例登録報告（2008）

脾・脾臓移植研究会脾臓移植班 ……………477

【脾臓移植】

脾臓移植症例登録報告（2008）

脾・脾臓移植研究会脾臓移植班 ……………482

【小腸移植】

本邦小腸移植症例登録報告

日本小腸移植研究会 ……………486

腎移植臨床登録集計報告(2008)-1

2007年実施症例の集計報告

日本臨床腎移植学会, 日本移植学会

Annual Progress Report from the Japanese Renal Transplant Registry The Number of the Renal Transplantation in 2007

The Japanese Society for Clinical Renal Transplantation, The Japanese Society for Transplantation

【Summary】

In 2007, the total number of kidney transplantations performed in Japan reached a record high of 1224 cases including 1037 from living donors, 163 from cardiac dead, and 24 from brain dead donors. In this report, the number of recipients and their characteristics as well as distribution of recipients by region, prefecture, and institution are described.

I. はじめに

全国の腎移植担当者の方々、ならびに各都道府県の地域担当者各位のご協力を得て、2007年の1年間にわが国で実施された生体腎および献腎移植について、例年のように全症例数の集計を行った。症例数、地域分布、レシピエントの属性などについて報告する。

表1 2007年の腎移植実施症例数

	腎移植件数	
生体腎	1,037	(84.7%)
献腎	163	(13.3%)
脳死体腎	24	(2.0%)
計	1,224	(100.0%)

II. 症例数とその分析

2007年の1年間にわが国で実施された腎移植の総症例数とその内訳を表1に示した。今回、回収された全症例数は1,224例であり、内訳は生体腎1,037例、献腎163例、脳死体腎24例であった。2006年と比較し、全症例数で88例の増加があり、この内訳は生体腎で98例の増加、献腎で19例の減少、脳死体腎で9例の増加となった。

表2はブロック別症例数の一覧である。人口分布に比例して関東甲信越で最も多数の移植が行われているが、2007年で特徴的なことを挙げると、脳死体腎移植の半数が近畿ブロックで行われたこと、また九州・沖縄ブロックでの献腎移植が全国の4分の1を占

表2 2007年のブロック別腎移植実施症例数

	生体腎		献腎		脳死体腎		計	
北海道	57	(5.5%)	8	(4.9%)	2	(8.3%)	67	(5.5%)
東北	54	(5.2%)	4	(2.5%)	1	(4.2%)	59	(4.8%)
関東甲信越	409	(39.4%)	49	(30.1%)	5	(20.8%)	463	(37.8%)
東海・北陸	132	(12.7%)	30	(18.4%)	0	(0.0%)	162	(13.2%)
近畿	180	(17.4%)	23	(14.1%)	12	(50.0%)	215	(17.6%)
中国・四国	138	(13.3%)	7	(4.3%)	1	(4.2%)	146	(11.9%)
九州・沖縄	67	(6.5%)	42	(25.8%)	3	(12.5%)	112	(9.2%)
計	1,037	(100.0%)	163	(100.0%)	24	(100.0%)	1,224	(100.0%)

表 3-1 北海道・東北ブロック腎移植実施症例数
(2006年との比較)

	生体腎	献腎	脳死体腎	計
北海道	57 (-9)	8 (-4)	2 (+2)	67 (-11)
東北	54 (+8)	4 (-7)	1 (+0)	59 (+1)
青森	2 (-1)	0 (+0)	1 (+1)	3 (+0)
岩手	1 (-1)	1 (+1)	0 (+0)	2 (+0)
宮城	29 (+9)	2 (-3)	0 (-1)	31 (+5)
秋田	19 (+2)	1 (-2)	0 (+0)	20 (+0)
山形	0 (+0)	0 (+0)	0 (+0)	0 (+0)
福島	3 (-1)	0 (-3)	0 (+0)	3 (-4)

表 3-2 関東・甲信越ブロック腎移植実施症例数
(2006年との比較)

	生体腎	献腎	脳死体腎	計
関東甲信越	409 (+49)	49 (-15)	5 (+2)	463 (+36)
茨城	13 (+2)	1 (-2)	0 (+0)	14 (+0)
栃木	21 (+6)	2 (+2)	0 (+0)	23 (+8)
群馬	7 (+1)	5 (+2)	0 (+0)	12 (+3)
埼玉	15 (-3)	0 (-6)	0 (+0)	15 (-9)
千葉	46 (+16)	5 (-8)	0 (-1)	51 (+7)
東京	244 (+22)	13 (-1)	5 (+4)	262 (+25)
神奈川	34 (-2)	16 (+4)	0 (-1)	50 (+1)
新潟	23 (+8)	5 (-7)	0 (+0)	28 (+1)
山梨	0 (-1)	0 (+0)	0 (+0)	0 (-1)
長野	6 (+0)	2 (+1)	0 (+0)	8 (+1)

表 3-3 東海・北陸ブロック腎移植実施症例数
(2006年との比較)

	生体腎	献腎	脳死体腎	計
東海・北陸	132 (-1)	30 (-8)	0 (-2)	162 (-11)
富山	5 (+3)	0 (+0)	0 (-1)	5 (+2)
石川	4 (-1)	2 (+1)	0 (-1)	6 (-1)
福井	0 (+0)	0 (+0)	0 (+0)	0 (+0)
岐阜	18 (-2)	4 (+1)	0 (+0)	22 (-1)
静岡	10 (-3)	2 (-12)	0 (+0)	12 (-15)
愛知	90 (+3)	21 (+1)	0 (+0)	111 (+4)
三重	5 (-1)	1 (+1)	0 (+0)	6 (+0)

表 3-4 近畿ブロック腎移植実施症例数
(2006年との比較)

	生体腎	献腎	脳死体腎	計
近畿	180 (+45)	23 (+3)	12 (+7)	215 (+55)
滋賀	1 (+1)	0 (+0)	1 (+1)	2 (+2)
京都	37 (+11)	2 (+0)	1 (+0)	40 (+11)
大阪	84 (+20)	1 (-4)	4 (+1)	89 (+17)
兵庫	37 (+3)	15 (+9)	6 (+5)	58 (+17)
奈良	11 (+2)	5 (+4)	0 (+0)	16 (+6)
和歌山	10 (+8)	0 (-6)	0 (+0)	10 (+2)

表 3-5 中国・四国ブロック腎移植実施症例数
(2006年との比較)

	生体腎	献腎	脳死体腎	計
中国・四国	138 (-6)	7 (+4)	1 (+0)	146 (-2)
鳥取	1 (-1)	0 (+0)	0 (+0)	1 (-1)
島根	2 (-2)	0 (+0)	0 (+0)	2 (-2)
岡山	18 (-2)	1 (+1)	0 (-1)	19 (-2)
広島	22 (-3)	0 (+0)	0 (+0)	22 (-3)
山口	12 (+0)	1 (+1)	0 (+0)	13 (+1)
徳島	4 (+0)	1 (+0)	0 (+0)	5 (+0)
香川	7 (-9)	2 (+0)	0 (+0)	9 (-9)
愛媛	64 (+11)	2 (+2)	1 (+1)	67 (+14)
高知	8 (+0)	0 (+0)	0 (+0)	8 (+0)

表 3-6 九州・沖縄ブロック腎移植実施症例数
(2006年との比較)

	生体腎	献腎	脳死体腎	計
九州・沖縄	67 (+12)	42 (+8)	3 (+0)	112 (+20)
福岡	34 (+3)	22 (+1)	3 (+0)	59 (+4)
佐賀	0 (+0)	0 (-1)	0 (+0)	0 (-1)
長崎	2 (-3)	4 (+2)	0 (+0)	6 (-1)
熊本	8 (-2)	4 (+2)	0 (+0)	12 (+0)
大分	3 (+2)	1 (+0)	0 (+0)	4 (+2)
宮崎	2 (+2)	0 (-3)	0 (+0)	2 (-1)
鹿児島	1 (+1)	2 (+2)	0 (+0)	3 (+3)
沖縄	17 (+9)	9 (+5)	0 (+0)	26 (+14)

めたことなどである。

北から南へ各ブロック別、都道府県別の集計を表3-1~3-6に示した。症例数の右側括弧内は2006年症例数と比較したものである。北海道・東北ブロックをみると北海道の生体腎、献腎がわずかに減少したものの、東北地方ではほぼ同数の移植が施行されている。県別では宮城県で生体腎症例が9例増加しているが、山形県では依然移植が施行されていない。関東甲信越ブロックでは東京や千葉での生体腎症例が大幅に増加し、生体腎全体で49例の増加がみられたが、一方、献腎症例は15例減少した。このブロックでは唯一、山梨県で移植が施行されていない。東海・北陸ブロックでは愛知県での症例数が111例とブロック全体のほぼ70%を占めている。静岡県での献腎が12例減少したが他は例年と比べ、大きな変動はみられていない。そのほか移植例のない福井を含む北陸3県、また三重県では依然として症例数が少ない。一方、近畿は2007年に最も症例数の増加がみられたブロックである。大阪府で生体腎が20例増加したのをはじめ、しばらく移植のなかった滋賀県でも2例が施行された。また兵

表4 2007年実施症例レシピエントの属性

	生体腎 (n=1,037)	献腎・脳死体腎 (n=187)	全体 (n=1,224)
年齢			
平均±標準偏差(歳)	42.8 ± 15.4	47.0 ± 13.4	43.5 ± 15.2
0～9歳	25 (2.4%)	9 (4.8%)	34 (2.8%)
10～19歳	52 (5.0%)	3 (1.6%)	55 (4.5%)
20～29歳	134 (12.9%)	2 (1.1%)	136 (11.1%)
30～39歳	225 (21.7%)	24 (12.8%)	249 (20.3%)
40～49歳	193 (18.6%)	59 (31.6%)	252 (20.6%)
50～59歳	247 (23.8%)	63 (33.7%)	310 (25.3%)
60～69歳	140 (13.5%)	25 (13.4%)	165 (13.5%)
70～79歳	11 (1.1%)	1 (0.5%)	12 (1.0%)
80歳～	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
不明	9 (0.9%)	1 (0.5%)	10 (0.8%)
性別			
男性	655 (63.2%)	117 (62.6%)	772 (63.1%)
女性	372 (35.9%)	69 (36.9%)	441 (36.0%)
不明	10 (1.0%)	1 (0.5%)	11 (0.9%)

表5 2007年実施症例移植回数別

レシピエント移植回数	生体腎	献腎・脳死体腎
1回目	978 (94.3%)	170 (90.9%)
2回目	36 (3.5%)	13 (7.0%)
3回目	1 (0.1%)	1 (0.5%)
記入なし・不明	22 (2.1%)	3 (1.6%)
計	1,037 (100.0%)	187 (100.0%)

庫県では献腎・脳死体腎が14例も増加している。中国・四国ブロックでは、愛媛県で生体腎が11例増えたものの、全体としては昨年とほぼ同数の移植数であった。九州・沖縄ブロックでは全体で20例増加したが、そのうち14例が沖縄県での増加であった。

Ⅲ. レシピエント性別、年齢分布、移植回数

表4にレシピエントの属性を示した。年齢分布は生体腎では30～50歳代が多く、全体の70%を占めたが、献腎・脳死体腎では40～50歳代がそれぞれ30%を超え、これら全体で65%を占めた。なお、2006年に比較し、生体腎の平均年齢は2.7歳上昇している。性別については生体腎、献腎・脳死体腎ともに男性の割合が高く、60%強となっている。

レシピエントの移植回数は表5に示すように生体腎、献腎・脳死体腎ともに初回移植症例が90%を超えている。二次移植例は生体腎で3.5%、献腎・脳死

表6 2007年の移植数別施設数

年間移植数区分	施設数	該当施設での移植件数
1～4例	64 (48.5%)	122 (10.0%)
5～9例	27 (20.5%)	171 (14.0%)
10～19例	24 (18.2%)	325 (26.6%)
20例以上	17 (12.9%)	606 (49.5%)
計	132 (100.0%)	1,224 (100.0%)

体腎で7.0%を占めたが、三次移植も生体腎に1例、献腎・脳死体腎に1例ずつ施行されている。

Ⅳ. 施設別症例数

表6に実施施設数を移植症例数別に分けて集計した結果を示した。例年のように症例数が1～4例とごく小規模の移植を行う施設は64施設と全体の48.5%を占めたが、その症例数は122例と全体のわずか10.0%に過ぎなかった。一方、年間20例以上の移植を行った施設は17施設と総数の12.9%であったが、その症例数は606例と全体の49.5%を占めていた。

各施設別の症例数を表7に示した。東京女子医大(外科, 泌尿器科, 小児科)が最も多く142例であり、名古屋第二日赤が68例とこれに次いでいる。その他30例以上の実施施設は千葉東(49例), 九州大と宇和島徳洲会(各39例), 京都府立医大(37例), 市立札幌(32例), 東邦大大森(30例)であった。

表7 2007年の施設別腎移植実施症例数

都道府県*	生体腎	献腎	脳死体腎	計	都道府県*	生体腎	献腎	脳死体腎	計
北海道(10)	10	2	1	13	成田記念	0	1	0	1
日竊記念	1	0	0	1	豊橋市民	0	2	0	2
市立札幌	28	3	1	32	名古屋セントラル	2	0	0	2
釧路総合	5	0	0	5	名古屋記念	0	1	0	1
札幌北楡	0	1	0	1	あいち小児保健医療総合セ	2	0	0	2
市立旭川	4	2	0	6	三重(2)	1	0	0	1
手稲溪仁会	1	0	0	1	三重大	4	1	0	5
函館中央	2	0	0	2	市立四日市	1	0	0	1
砂川市立	5	0	0	5	滋賀(2)	1	0	0	1
札幌医大	1	0	0	1	近江八幡	0	0	1	1
青森(2)	2	0	0	2	滋賀医科大	34	2	1	37
弘前大	2	0	0	2	京都(2)	3	0	0	3
鷹揚郷弘前	0	0	1	1	京都大	12	1	2	15
岩手(1)	1	1	0	2	大阪(14)	14	0	0	14
岩手医科大	1	1	0	2	大阪市立大	3	0	0	3
宮城(2)	1	1	0	2	近畿大	8	0	0	8
東北大	28	1	0	29	近畿大堺	1	0	0	1
仙台社保	19	1	0	20	大阪医科大	1	0	0	1
秋田(1)	3	0	0	3	関西医科大	1	0	0	1
秋田大	13	1	0	14	市立吹田	1	0	0	1
福島(1)	20	1	0	21	NTT西日本大阪	16	0	1	17
福島県立医科大	1	1	0	2	大阪府立急性期・総合医療セ	1	0	0	1
茨城(1)	4	1	0	5	大阪府立母子保健セ	5	0	1	6
水戸医療セ	2	3	0	5	大阪市立総合医療セ	7	0	0	7
栃木(2)	2	0	0	2	大阪船員保険	7	0	0	7
自治医科大	1	1	0	2	住友	7	0	0	7
獨協医科大	4	1	0	5	市立池田	12	4	1	17
群馬(3)	1	1	0	2	兵庫(4)	9	4	2	15
群馬大	2	3	0	5	兵庫大	11	7	3	21
富岡総合	1	1	0	2	神戸大	5	0	0	5
総合太田	2	0	0	2	兵庫県立西宮	11	5	0	16
埼玉(4)	1	0	0	1	和歌山(1)	10	0	0	10
埼玉医大国際医療セ	2	0	0	2	日赤和歌山医療セ	1	0	0	1
防衛医科大	1	0	0	1	鳥取(1)	2	0	0	2
埼玉医大総合医療セ	2	0	0	2	鳥根大	18	1	0	19
戸田中央総合	10	0	0	10	岡山(1)	6	0	0	6
千葉(2)	44	5	0	49	広島(3)	14	0	0	14
千葉東	2	0	0	2	呉共済	2	0	0	2
聖隷佐倉	6	0	0	6	山口(2)	11	1	0	12
東京(14)	7	0	0	7	済生会下関総合	1	0	0	1
東京大	49	4	2	55	徳島(2)	1	0	0	1
慶応義塾大	68	4	1	73	川島	3	1	0	4
東京女子医大(泌)	12	2	0	14	香川(3)	6	0	0	6
東京女子医大(外)	7	0	0	7	キナシ大林	0	1	0	1
東京女子医大(小)	3	0	0	3	高松赤十字	1	1	0	2
東京慈恵医科大	19	0	0	19	愛媛(5)	1	0	0	1
昭和大	29	1	0	30	市立宇和島	2	0	0	2
東邦大森	8	0	0	8	愛媛県立中央	21	2	1	24
虎の門	18	2	1	21	愛媛県立三島	1	0	0	1
都立清瀬小児	6	0	1	7	宇和島徳洲会	39	0	0	39
成育医療セ	10	0	0	10	高知(1)	8	0	0	8
板橋中央総合	2	0	0	2	福岡(5)	1	2	0	3
東京西徳洲会	0	4	0	4	久留米大	0	6	0	6
神奈川(5)	11	5	0	16	九州大	27	9	3	39
東海大	4	3	0	7	済生会八幡	2	1	0	3
北里大	10	0	0	10	福岡赤十字	4	4	0	8
横浜市立大	9	4	0	13	長崎(2)	2	1	0	3
聖マリアンナ医科大	23	3	0	26	長崎大	0	3	0	3
虎の門分院	0	2	0	2	長崎医療セ	2	0	0	2
新潟(2)	5	0	0	5	熊本(2)	6	4	0	10
新潟大	4	1	0	5	熊本大	3	1	0	4
信楽園	0	1	0	1	熊本赤十字	2	0	0	2
富山(1)	4	1	0	5	大分(1)	2	0	0	2
富山県立中央	0	1	0	1	宮崎(1)	1	2	0	3
石川(2)	0	1	0	1	鹿児島(1)	6	6	0	12
金沢医科大	3	0	0	3	沖繩(3)	4	0	0	4
金沢大	18	4	0	22	琉球大	7	3	0	10
信州大	7	1	0	8	同仁	1,037	163	24	1,224
長野赤十字	0	1	0	1	沖繩県立中部				
佐久総合	3	0	0	3	合計(132)				
岐阜(1)	18	4	0	22					
岐阜大	7	1	0	8					
静岡(3)	0	1	0	1					
浜松医科大	3	0	0	3					
静岡県立総合	0	1	0	1					
静岡県立こども	9	5	0	14					
愛知(12)	4	2	0	6					
藤田保健衛生大	0	1	0	1					
名古屋大	8	3	0	11					
名古屋市立大	64	4	0	68					
社保中京	0	2	0	2					
名古屋第二日赤	0	2	0	2					
小牧市民	1	0	0	1					
岡崎市民									

*1 ()内は2007年に腎移植を実施した施設数

V. おわりに

2007年にわが国で施行された腎移植症例の総数、地域分布などを報告した。

なお、長年にわたり腎移植臨床登録委員長としてご尽力された太田医学研究所、太田和夫先生に代わり、今年度より新たな登録委員会が発足し、登録、集計業務を担当することとなった。わが国の腎移植登録事業の基礎作りをされた太田和夫先生のご業績に深く感謝を申し上げるとともに、引き続き、腎移植関係者の皆様のご協力をいただき、わが国の腎移植の登録集計のいっそうの充実を図り、この領域の発展に寄与したいと考えている。ご理解、ご協力の程、よろしくご願ひ申し上げる次第である。

連絡先：腎移植集計センター
(NPO 法人日本臨床研究支援ユニット内)
TEL：03-5842-2581 FAX：03-5842-2580
E-mail：transplant@crsu.org

文責：日本臨床腎移植学会・日本移植学会
日本臨床腎移植学会登録委員会
大阪大学先端移植基盤医療学講座 高原史郎(委員長)
自治医科大学腎泌尿器外科学講座 八木澤 隆
自治医科大学情報センター・医学情報学 三重野牧子
太田医学研究所 太田和夫

腎移植臨床登録集計報告(2008)-2

2007年実施症例の集計報告(2)

日本臨床腎移植学会

Annual Progress Report from the Japanese Renal Transplant Registry The Number of the Renal Transplantation in 2007, Part 2

The Japanese Society for Clinical Renal Transplantation

【Summary】

A record high number of 1224 kidney transplants including 1037 from living donors, 163 from cardiac dead and 24 from brain dead donors were performed in 2007.

The data obtained from the Japanese Renal Transplant Registry are shown and analyzed in this annual report. The characteristics of recipients and donors such as relationships, original diseases, duration of dialysis therapy, blood transfusion, the status of viral antigens and antibodies, pretransplant complications, the causes of death of cadaveric donors, ischemia time, and histocompatibilities are described. In addition, immunosuppressants used initially and other treatments are assessed.

Keywords: Renal transplantation in Japan, Annual report in 2007, The Japanese Renal Transplant Registry

I. はじめに

2007年にわが国で実施された腎移植の臨床登録集計の結果を報告する。症例数、地域分布の詳細はすでに第一報¹⁾としてまとめているが、本報告ではこれらを含め、ドナー、レシピエントの背景、組織適合性、合併症、術前の病態と処置、免疫抑制療法や特殊治療の実施状況など2007年に実施された腎移植の全体像を報告する。

II. 集計結果

2007年腎移植実施症例登録票の回収状況は実施報告1,224例のうち1,217例(未回収7例)であった。回収の内訳は生体腎が1,031例(未回収6例)、献腎(心停止・脳死)で186例(未回収1例)であった。以下に各項目の集計結果を示す。

表1は2003年より2007年までの間に行われた腎移植の実施報告症例数の推移を表したものである。この5年の間、症例数は増加を続け、2006年に初めて

1,000例を超えたが2007年にはさらに88例増えて過去最高の1,224例を数えた。その内訳をみると、生体腎が年々約100例増加しているのに対して献腎は130～190例台を変動し、増加傾向が認められていない。すなわち、症例数の増加は生体腎の増加によっていることが示される。

表2は各施設別の症例数を示したものである。実

表1 2003～2007年の腎移植実施症例数

	生体腎	献腎 (心停止)	献腎 (脳死)	合計
2003年	729	134	4	867
2004年	731	167	6	904
2005年	834	144	16	994
2006年	939	182	15	1,136
2007年	1,037	163	24	1,224

2007年:

- ・生体腎1,037例のうち回収可能であったのが1,031例
- ・献腎187例のうち回収可能であったのが186例

表2 2007年の施設別腎移植実施症例数

都道府県**	生体腎	献腎 (心停止)	献腎 (脳死)	計	都道府県**	生体腎	献腎 (心停止)	献腎 (脳死)	計		
北海道(10)	北海道大	10	2	1	13	成田記念	0	1	0	1	
	日鋼記念	1	0	0	1	豊橋市民	0	2	0	2	
	市立札幌	28	3	1	32	名古屋セントラル	2	0	0	2	
	釧路総合	5	0	0	5	名古屋記念	0	1	0	1	
	札幌北極	0	1	0	1	あいち小児保健医療総合セ	2	0	0	2	
	市立旭川	4	2	0	6	三重大(2)	三重大	1	0	0	1
	手稲深仁会	1	0	0	1	市立四日市	4	1	0	5	
	函館中央	2	0	0	2	滋賀(2)	近江八幡	1	0	0	1
	砂川市立	5	0	0	5	滋賀医科大	0	0	1	1	
	札幌医大	1	0	0	1	京都(2)	京都府立医科大	34	2	1	37
青森(2)	弘前大	2	0	0	2	京都大	3	0	0	3	
	鷹揚郷弘前	0	0	1	1	大阪(14)	大阪大	12	1	2	15
岩手(1)	岩手医科大	1	1	0	2	大阪市立大	14	0	0	14	
宮城(2)	東北大	1	1	0	2	近畿大	3	0	0	3	
	仙台社保	28	1	0	29	近畿大堺	8	0	0	8	
秋田(1)	秋田大	19	1	0	20	大阪医科大	1	0	0	1	
福島(1)	福島県立医科大	3	0	0	3	関西医科大	1	0	0	1	
茨城(1)	水戸医療セ	13	1	0	14	市立吹田	1	0	0	1	
栃木(2)	自治医科大	20	1	0	21	NTT西日本大阪	1	0	0	1	
	獨協医科大	1	1	0	2	大阪府立急性期・総合医療セ	16	0	1	17	
群馬(3)	群馬大	4	1	0	5	大阪府立母子保健セ	1	0	0	1	
	富岡総合	1	1	0	2	大阪府立総合医療セ	5	0	1	6	
	総合太田	2	3	0	5	大阪船員保険	7	0	0	7	
埼玉(4)	埼玉医大国際医療セ	2	0	0	2	住友	7	0	0	7	
	防衛医科大	1	0	0	1	市立池田	7	0	0	7	
	埼玉医大総合医療セ	2	0	0	2	兵庫(4)	兵庫医科大	12	4	1	17
	戸田中央総合	10	0	0	10	神戸大	9	4	2	15	
千葉(2)	千葉東	44	5	0	49	兵庫県立西宮	11	7	3	21	
	聖隷佐倉	2	0	0	2	神戸市立中央市民	5	0	0	5	
東京(14)	東京大	6	0	0	6	奈良(1)	奈良県立医科大	11	5	0	16
	慶応義塾大	7	0	0	7	和歌山(1)	日赤和歌山医療セ	10	0	0	10
	東京女子医大(泌)	49	4	2	55	鳥取(1)	米子医療セ	1	0	0	1
	東京女子医大(外)	68	4	1	73	鳥根(1)	鳥根大	2	0	0	2
	東京女子医大(小)	12	2	0	14	岡山(1)	岡山医療セ	18	1	0	19
	東京慈恵医科大	7	0	0	7	広島(3)	広島大	6	0	0	6
	昭和大	3	0	0	3	県立広島	14	0	0	14	
	東京医科大(医療セ)	19	0	0	19	呉共済	2	0	0	2	
	東邦大大森	29	1	0	30	山口(2)	山口大	11	1	0	12
	虎の門	8	0	0	8	済生会下関総合	1	0	0	1	
	都立清瀬小児	18	2	1	21	徳島(2)	川島	1	0	0	1
	成育医療セ	6	0	1	7	徳島赤十字	3	1	0	4	
	板橋中央総合	10	0	0	10	香川(3)	香川大	6	0	0	6
	東京西徳洲会	2	0	0	2	キナン大林	0	1	0	1	
神奈川(5)	東海大	0	4	0	4	高松赤十字	1	1	0	2	
	北里大	11	5	0	16	愛媛(5)	愛媛大	1	0	0	1
	横浜市立大	4	3	0	7	市立宇和島	2	0	0	2	
	聖マリアンナ医科大	10	0	0	10	愛媛県立中央	21	2	1	24	
	虎の門分院	9	4	0	13	愛媛県立三島	1	0	0	1	
新潟(2)	新潟大	23	3	0	26	宇和島徳洲会	39	0	0	39	
	信楽園	0	2	0	2	高知(1)	高知医療セ	8	0	0	8
富山(1)	富山県立中央	5	0	0	5	福岡(5)	福岡大	1	2	0	3
石川(2)	金沢医科大	4	1	0	5	久留米大	0	6	0	6	
	金沢大	0	1	0	1	九州大	27	9	3	39	
長野(3)	信州大	0	1	0	1	済生会八幡	2	1	0	3	
	長野赤十字	3	1	0	4	福岡赤十字	4	4	0	8	
	佐久総合	3	0	0	3	長崎(2)	長崎大	2	1	0	3
岐阜(1)	岐阜大	18	4	0	22	長崎医療セ	0	3	0	3	
静岡(3)	浜松医科大	7	1	0	8	熊本(2)	熊本大	2	0	0	2
	静岡県立総合	0	1	0	1	熊本赤十字	6	4	0	10	
	静岡県立こども	3	0	0	3	大分(1)	大分大	3	1	0	4
愛知(12)	藤田保健衛生大	9	5	0	14	宮崎(1)	県立宮崎	2	0	0	2
	名古屋大	4	2	0	6	鹿児島(1)	鹿児島大	1	2	0	3
	名古屋市立大	0	1	0	1	沖縄(3)	琉球大	6	6	0	12
	社保中京	8	3	0	11	同仁	4	0	0	4	
	名古屋第二日赤	64	4	0	68	沖縄県立中部	7	3	0	10	
	小牧市民	0	2	0	2						
	岡崎市民	1	0	0	1						
					合計(132)	1,037	163	24	1,224		

** () 内は2007年に腎移植を実施した施設数